

## 工学部 石井先生 次世代の女性研究者への思い

四国女性研究者フォーラム基調講演で、本大学の次世代育成の取組みが紹介されました。今回はその立役者、工学部知能機械システム工学科の石井明教授に、男女共同参画と次世代育成への思いについて伺いました。



石井 明 教授

### Q：次世代育成に取り組まれたきっかけは何ですか？

2005年3月に高松（e-とぴあ・かがわ）で開催した精密工学会画像応用技術専門委員会のワークショップに当時日本女子大学理学部小舘香椎子教授（現在、科学技術振興機構男女共同参画主監）を特別講演で呼び出したのが始まりで、その翌年の2月同画像応用技術専門委員会に男女共同参画の検討のためのワーキンググループを設置し、7月に高松で「あなたの未来は無限大！女性技術者・科学者からのおくりもの」というイベントを展開しました。小舘研卒の塚田由紀氏（交通安全環境研究所研究員）に高松市立多肥小学校で特別講義をお願いしました。また、e-とぴあ・かがわでスタッフの大木友梨子氏の「夏休み自由研究先取り講座“動くアルバム作り””を行いました。小学生の時期にインパクトのある本物に触れる体験が何より重要だと思います。この時、女子中高生向けの理科系進路選択の紹介ブースも設置。「科学技術と男女共同参画—楽しい豊かな生活を目指して—」をテーマにシンポジウムも行いました。

### Q：ネットワークづくりに大切なことは？

「男女共同参画」という固い切り口の時代は終わっていると思います。山形では20代の女性たちがGIRL LOVEs YAMAGATAのプロジェクトを活発に行っています。県内外の山形女性がつながっちゃおうという企画。おもしろければ人は集まる。そこに崇高な理念があれば続いていく。お金をかければいいわけでもない。コアになるメンバーが期待するわくわくする企画を立て、楽しくしようとしたら次につながっていくのです。参加者が笑顔で帰っていったら成功だと思う。工学部のガールズパーティの取組みも女子学生にとってはうれしいことだし、若い女性の先生が引っ張っていることもいいと思う。今度は一歩踏み出して、地域にどんどん発信して、企業の社長も巻き込んで定着させていったらいいと思います。

### Q：次世代の女性研究者への思い

研究者を育てることは地域ではなかなか難しいのだと思います。だから小学生の時から本物に触れることが大切。今は10年後の日本を思い描ける人材が必要だと思います。人が触れ合えないインターネットの時代だからこそ、若者に体で本物を感じ取ってほしい。文化の中で鍛えられている土壌があるからいいものが作り出せる。社会が混迷する今の時代、女性の出番です。長丁場の取組みはやはり女性なのではないでしょうか。男女共同参画を狙うのではなく、必然として女性が活躍していく時代になっていくと思っています。女性が元気になれば男性も元気になる。女性が活発になれば男性も活発になる。女性が真剣に考えれば男性も真剣に考える。



## 学習会「豊かな学童保育の可能性」 医学部ワークライフバランス推進室共催

地域の社会資源について意外と知らないものです。今回は小学1年生になったらお世話になる学童保育の制度や取組みについて学びます。平成25年度には「子ども子育て新システム」が導入され子育て支援の制度も変わることが予想されます。子どもさんが就学を迎える教職員の皆様、ふるってご参加ください。



期日：平成23年3月15日16:00～17:30

場所：香川大学医学部管理棟4階会議室1

（木田郡三木町大字池戸1750-1）

対象：本学教職員・ワークライフバランス推進室相談員

内容：「豊かな学童保育の可能性」

講師：角野いずみさん（津山市北小ひなづるクラブ指導員・岡山県学童保育連絡協議会事務局次長）  
青野雅世さん

（学童保育保護者OB・岡山市政田ポプラくらぶ指導員・岡山県学童保育連絡協議会副会長）

アドバイザー：

高松市子ども未来課 石原敏滋 係長  
高松市教育部生涯学習課 長門 等 係長  
三木町教育総務課 田岡和代子 副主幹兼係長



ご参加希望の方はこちらへお申し込みください。

お問い合わせ：男女共同参画推進室

087-832-1055（内線1055）

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp